



# 週報 第3146回

会長 植村 勢彦 副会長 原 正人  
幹事 渡辺 万寿 SAA 西田 佳郎

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津  
TEL 0725-20-1121  
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F  
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501  
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org  
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



## 今週の例会(2022年1月28日)

### ■ プログラム

新年特別卓話 泉大津市長 南出 賢一 様

### ■ 次週のプログラム

2月4日: クラブフォーラム 泉谷 仁博 国際奉仕部門担当理事

### ■ 今後の予定

- ・2月11日: 定款の規定により例会休会
- ・2月18日: 特別卓話 大阪府議会議員 大橋 一功 様

### ■ 祝 誕生日

藤野 修次(29日)  
榎本 善夫(30日)

### ■ 今月のロータリーソング

それこそロータリー

## 今月の歌

### たき火

垣根の垣根の	曲がり角
たき火だたき火だ	落ち葉たき
あたろうか	あたろうよ
北風びいぶう	吹いている

### ■ 先週の例会

#### 会長の時間

新型コロナウイルス・オミクロン株の感染がものすごい勢いで拡大しています。特に若い人が多いですが、油断をせずに間隔をあけて大きな声での会話を控え、常に緊張感を持って行動します。今日はベンチャー企業ですが、製品の中身(アジ)と地道なコミュニティを大切にしている会社の一例をご紹介します。日本メーカーのウイスキーが5、6年くらい前から原酒不足でサントリーの響・山崎。そして、ニッカウヰスキーの竹鶴・余市が市場から無くなって来ました。どうしたのかと思っていた時に、ある記事を見たので直ぐに調べて注文しました。【イチロズモルトウイスキー】それは埼玉県秩父市に2008年に建造されたジャパニーズウイスキーの蒸留所がある、会社名は株式会社ベンチャーウイスキーで、代表取締役が肥土伊知郎さんで現在55歳です。もともとこの会社は、江戸時代親時代から続く酒造メーカーでしたが、経営不振で民事再生法の適用を申請し、新体制で肥土氏が社長を継ぐように成りました。その時は35歳でした。祖父の代から蒸留設備を備え、ウイ



植村 勢彦 会長

# IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3146回

スキー製造も行って来ました。しかし再生中の会社が仕方なく営業譲渡されたのです。新しい譲渡先は、20年間熟成させた400樽のウイスキーの原酒の在庫廃棄を通告してきたのです。この時、肥土さんは最大のピンチを迎えていました。彼は4年前からウイスキーの原酒を賭けていました。実は4年前からウイスキーの原酒がまだ残っていたのでシングルモルトウイスキーの製造・販売を開始していたのです。この原酒はブレンドウイスキーに使用する、熟成されたモルト原酒だったのです。この原酒の価値を知るために、バーを回って歩き試飲してもらったのです。予想以上に評価が高かったので自信はあったのだと思います。彼はその年の秋に1000万円の資金を元手にベンチャーウイスキーを設立したのです。廃棄処分を命じられた原酒を自分で買い取り、預かり先を自身で探して、福島県の酒造会社に辿り着いたのです。そして翌年に、預けていた原酒を肥土氏の手で仕上げ、「イチロズモルトピンテージ シングルモルト1988」を早くも販売にこぎつけたのです。翌年にイギリスの「ウイスキーマガジン」のウイスキー部門で最高得点を獲得しました。またその翌年には、ワールド・ウイスキー・アワードで、最高賞を受賞しました。2004年のウイスキーの原酒廃棄通告と言う人生のどん底から、わずか3年しか経っていないのです。この間「1日3軒以上、2年間で延べ2,000軒のバーを回ってテイastingしながら学んだそうです。同時に自分のウイスキー造りの夢を語ると、応援してくれるバーテンダーが何人もいたそうです。日本から遠く離れたスコットランドのウイスキーを楽しむ人たちがいる。ならば私も世界中で飲まれるウイスキーを造れるかもしれない。そんなことを考えたそうです。」埼玉県への3度目わたる熱烈なプレゼンテーションの結果、ベンチャー企業においては前例のない工業団地の用地使用が可能になり、銀行からの融資もおり、蒸留所設立時のメンバーは自身を含めて4人で、その内2名は、ウイスキー造りは初めての若手だったそうです。彼らは今も活躍しているそうです。今現在は23名で平均年齢が30歳だそうです。当初からブランド力ではなく、味で勝負し口コミでファンを増やす戦略で、広告宣伝・ブランディングを一切行わないなど、他社と異なる挑戦や戦略

で成長しています。コミュニティから新しい価値が生まれるなど、多くのファンの共感を得ています。今はブランドアンバサダーも正社員でおり、今も切磋琢磨して数々の世界的な賞を受けるウイスキー造りに従事して来ました。品切れとなる限定品も多くあります。今年は12年物の完成する年でもありそうです。そして、さらに熟成させるために原酒を貯蔵します。ウイスキー造りと、経営者としての立場がせめぎ合う事もよくあるそうです。ビジネスとしてのウイスキー造り、愛好家としての30年物を味わうことが、人生の目標であるそうです。そんなことを考えると、年を取るのも悪くはないと思うそうです。ウイスキー会社での製造経験のない、いわば独学である。彼らは、自分の味覚と嗅覚を頼りに一歩ずつ、希望をもって進んできています。卓越した味覚よりも、こつこつと続ける忍耐力が必要だそうです。ウイスキーが好きだから、のめり込めるんだそうです。これからのベンチャーウイスキーの活躍が楽しみです。熟成されたウイスキーの飲み方は色々ありますが、ストレートはきついし、オンザロックもきついし、私はハーフロックか水割り大好きです、本当に美味しかったです。ちなみにウイスキーの事なら、【南のバーのマスターか、白谷直前会長かと言うくらい】品種、銘柄、飲み方など、マスター・オブ・ウイスキー的によく知っています。以前に懇親会の席が2回ほど隣り合わせでしたので、お互いにウイスキーが好きで、2回ともウイスキーの話で盛り上がりました。国産のシングルモルトはどれとどれが旨い。特に何年物は格別に旨いとか、洋酒では、スコッチウイスキーは、どれとどれで特に何年物が美味いとか。飲み方もストレートから水割りまで、色々な飲み方をよく知っています。あつという間に時間が過ぎるくらい、本当によく知っています。感心しました!!ところが最近知ったのですが、ワインの事にも相当詳しいらしいです。また機会があれば聞きたいです。

最後になりますが、新型コロナウイルス・オミクロン株の感染拡大が続いています。【うつらない・うつさない】を実行するために、不要な外出を控えましょう。体調に異変がある場合は直ぐに病院に行きましょう。

### ■ 幹事報告

渡辺 万寿 幹事

新型コロナウイルス感染拡大(変異ウイルス、オミクロン株)により例会場での取り組みについては引き続きご協力のほどよろしくお願い致します。

### ■ 委員会報告

本日例会終了後、みやびの間で親睦活動委員会を開催しますので、案内のあった方は出席よろしくお願い致します。(櫻井 親睦活動委員長)

### ■ ビジター

なし

### ■ 出席報告

会員数43名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
1/21	33名	10名	—	76.74%
1/7	29名	14名	3名	74.42%

### ■ メークアップ

榎本(1/13 ワールド大阪ロータリーEクラブ)  
松内(1/21 親睦活動委員会)  
丹農(1/13 高師浜RC)

### ■ ニコニコ箱

- ・白谷直前、本日の卓話宜しく申し上げます (植村)
- ・白谷直前会長、本日の卓話宜しく申し上げます (渡辺)
- ・白谷直前会長、本日の卓話宜しくお願いいたします (西田)
- ・お誕生日お祝いありがとうございます(南出)
- ・誕生日お祝いありがとうございます(丹農)
- ・長らく休みました。申訳ありません(藪野)
- ・欠席のおわびです(寺田)
- ・早退のお詫び(丹農)

ニコニコ箱合計	21,000円
累計	496,000円

## 先週のプログラム



卓話担当 白谷 喜世彦 会員

「いまどうなんねん、どないしたらええんやろう」

オミクロン株の感染拡大が続いています、おそろく来週にはマンボウもでることでしょう。それにしても、コロナによってこれまでのあたりまえが大きく変わってきたようです。これまで変えられなかったこと、変えなかったことがどうしようもなくなって変わってきているようです。コロナによって世の中が変わったといわれています。でも経済や社会の仕組みにおいては、コロナによって変わったというよりは、コロナによっていままでごまかし、先送りしてきたものがどもならんようになって明らかになってき

ただけのように思えます。戦後、アメリカについていくことによって、国際的な判断をすべてアメリカにゆだね、安全を保障され、なんも考えずアメリカの経済戦略の下、一生懸命はたらいて、豊かになってきました。しかし、世界的に広がる資本主義のグローバル化とITによるものづくりの自動化と情報の拡散によってそんな日本のビジネスモデルは通用しなくなりました。その結果、日本は稼げない国となり、これまでの資産を食いつぶしてきています。そうやってなんとかしのいできたのですが、コロナによってもうごまかしがきかなくなってきたようです。そのうえ、SDGsとかサステナビリティへの対応を施さねかんようになってきました。更にDX(デジタルトランスフォーメーション)とGX(ノンカーボン)への対応も求められます。私たちは、この現状を客観的にみて、合理的に分析してすべきことをやっつていかないとあかんときがきてるんだと思えます。

さて、今年の流行色はジョリーカラーだそうで

# IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3146回

す。このあいだ、ある互例会のあいさつでそんな話がありました。どんな色かわかります?私はわからなかったので、早速グーグル先生に聞きました。すると、蛍光味を帯びた明るいオレンジのようです。そうなんかとあと思ってました。次の日、大阪にご飯を食べに行くことになりました。その帰り、ソニープラザによると、ありゃあジョリーカラーあるじゃないですか。トニーズチョコロンリーというチョコです。オレンジのチョコでフェアトレードを実現するために作られたブランドだそうです。これがそれです。今年の流行色とSDGsを表現するのに、なかなかええつかみになるなあと思って買いました。新たな仕掛けでこんな需要も生まれるわけです。

一昨日の朝7時のNHKのニュースでこんな話題が。オックスフォムというNGOの発表でこのコロナの間に、アメリカのテスラやアマゾン、フェイスブックなどの富豪10人の資産が80兆円から170兆円と約2倍になりました。でも、99%の人の年収は下がっているそうです。そして、毎日21000人の人が医療をうけられなかったり飢餓で死んでいて、1.6億人が貧困に陥ったそうです。このようにコロナが変化の加速と格差の拡大を産んでいます。私たちも、この変化に対応していかないとやばいことになりそうです。

みなさん、ドラえもんご存知ですか?なんかいまの状況ドラえもんみてみたいなあがしてます。のびたくんはもちろん日本であり、私たち。いいひとで、それなりに一生懸命生きてます。こまったりめっちゃをいうジャイアンや、ずるいスネオに困らされたらドラえもんが解決法をだして助けてくれて、しずかちゃんがいたわって助けてくれます。どうですかそれぞれのキャラクターは皆さんのご想像ですが。いままでと似てませんか?ところが、いまドラえもんがいなくなり、しずかちゃんもいなくなってしまうんです。さてのびたどうしましょう?

これまでは、いいものを、安く、大量に、いつでも、どこでもというキーワードを実現すればなんとかなりました。そしていいものとは、いいとわかっているものをどっかからみつけてくること。それをうまくやっている方法をまねて、それに工夫を加えて一生懸命やるのがうまい秘訣でした。ところがいまそのやり方ではどうもならんようになってきまし

た。簡単ないうと、世の中から、利益の余裕がなくなってきたから。こうなるとこのビジネスモデルは強いものが、その力でまわりからどんどん奪取して、さらには未来から利益を奪取して独り占めするようになってきたからです。このけつつか、このやりかたでは中小企業や個人企業、地方はどんどん体力を吸い上げられてやりようがなくなってきました。それでもって未来の可能性もかりとってきています。

じゃあどうするのか、まずいままでのええもんさがして、一生懸命やる。とりあえずいままぼろぼろすることはやめて。お客様のニーズを客観的にとらえて、合理的に分析して、できることではなく、やるべきことを、やれるようにしていく。そしてこれを実行し続けていくことが必要やと思います。これまでのように、国や元請けに頼るのではなく、国や元請けは使っても、自分で直接お客様のニーズに応えるように変えていく自助が必要です。

やらないといけないこと、いままでできない理由のあったこと、をしていくには自分だけの経営資源では無理です。またたくさんのことに対応することや、完全をめざすのも無理です。だから、信頼のできる、自分でがんばろうと思っている人たちとのコラボレーション、助け合い、共助が必要となってきます。このため、共助できる人たちのネットワークづくりということがこれまで以上に重要となってきます。このために、一緒に会う、飯を食う、遊ぶことがこれまで以上に大事になってくると思います。

こんなけ、各国がお金をばらまいてきているんだから、お金はあります。ただ、消費者のやりたいこと、必要なことが変わってきていることに対応していけてない。つまり、お客さんの満足に依って、不安、不便、不満を解決し、快適と便利を提供していく。対象はみんなやなくて、自分の身の丈にあった範囲だけでええわけです。

京都の竜安寺に知足の器という手水があります。ここには吾唯足ることを知ると書かれています。これは、決して我慢をするということではなく、欲の赴くままそれを追い求めないということだと思えます。このようにすることによってこれからの時代に対応していけるのではないかと思います。